

もしものときのために 人生会議

※ACPとは・・・アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning)の略称です。また、人生会議はACPの愛称です。

11月30日は
いい看取り
看取られ
人生会議の日



少子高齢社会となり、医療や介護を受ける側も、担う側も新たな局面に直面しています。
一人一人それぞれが考える「人生の質」「生き方の質」を尊重したうえで、過不足のない医療やケアの選択への支援が非常に難しいこともあります。大切なのは「**その時々で、考えられる最善と一緒に悩み考え続けること=人生会議**」です。

- 1 もしものときのために
- 2 あなたが大切にしていることや望んでいること
- 3 どこで、どのような医療・ケアを望むか
- 4 前もって考え、周囲の信頼する人たち（家族やかかりつけ医、介護関係者など）と共有する取組み

ACP（人生会議）普及推進サポーターの方々とご家族のサポートにより、よりよい医療やケアを受けながら人生を過ごす区民の方のエピソードをご紹介します。

「人に迷惑かけたらあかと親父に教えられましたから。
最期までそうしたいんです」



まつだ てるお
松田 輝夫さん

松田さんは、岐阜県で生まれ親戚のもとで働くため、20歳で来阪されました。居酒屋を営みながら大きな病気も入院もせず元気にこれまで一人で暮らしてきました。しかしある日、かかりつけ医の検査で進行がんが見つかり入院されました。

「年も年だし、治らないんだったら副作用がきつい抗がん剤治療はしなくていいです。痛みが出たりしないようにしてほしいです。それと、最期はお寺にお願いしたいことも相談したい。最終的には姪に全てをとっている。」とのお気持ちを病院の退院支援看護師へ吐露されました。

松田さんは現在、在宅のかかりつけ医、訪問看護師、介護ヘルパー、ケアマネージャー、包括支援センター、司法書士そして姪の松田里加さんと医療・介護・福祉の方々のサポートを受けながら入院前と同じように、自分のペースで過ごされています。

松田さんをサポートする心強い皆さん

済生会野江病院退院支援

やま だ
山田看護師

「ご本人が望む医療や暮らしを多職種と共有し想いをつないでいきます」



まつだ り か
姪の松田 里加さん

「本人がやりたいことをなるべく我慢しないで過ごせるように」



みなわかい介護ヘルパー
ふる い
古井さん

「在宅チームとともに、ご本人の想いを大切に生活を整えています」



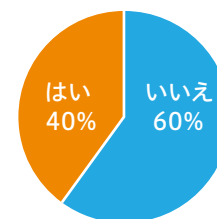
よこやまよりこ
横山 頼子
作成者：ネットワーク会議 ワーキンググループ

ご本人の想いを聴き、ご本人が望む生活や生き方を続けられるよう、
家族や医療チーム、ケアチームとともに一緒に悩み考えていくことが大切です。
さあ、皆さんも心許せる人と話をしてみませんか。

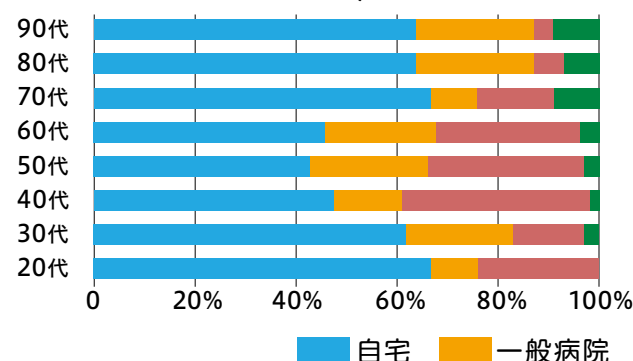
「人生の最終段階における過ごし方」について区民アンケート結果（抜粋）

令和5年12月～令和6年2月に実施したアンケートで、ご本人867名、ご家族641名の皆さんから回答をいただきました。今回アンケートから抜粋して区民の皆さんへご報告させていただきます。

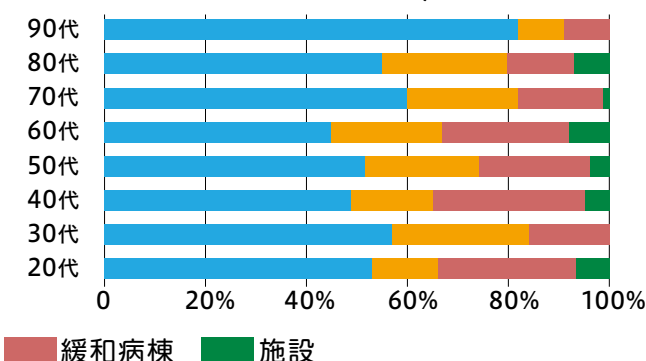
■人生の最終段階について考えたことがありますか（本人・家族全体）



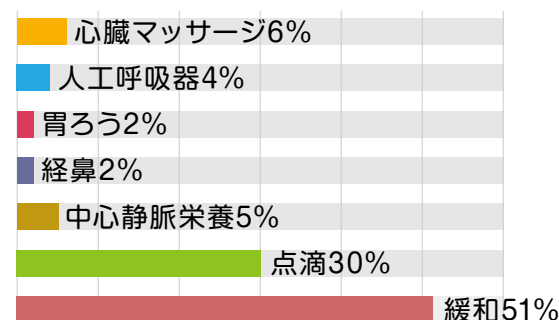
■寿命が1年以内のとき、最期を迎えたい場所は？(本人回答)



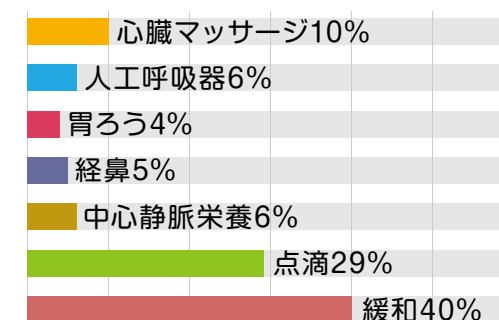
■家族の寿命が1年以内のとき、最期を迎えさせたい場所は？(家族回答)



■寿命が1年以内のとき、希望する医療は？(本人回答)



■家族の寿命が1年以内のとき、家族に希望する医療は？(家族回答)



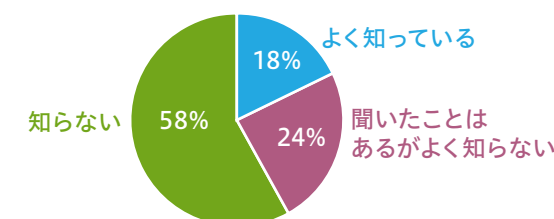
【胃ろう】・・・口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること。

【経鼻栄養】・・・口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること。

【中心静脈栄養】・・・口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること。

〔厚生労働省ホームページより〕

■ACP（人生会議）を知っていますか？（2023年：本人・家族全体）



皆さん自身や家族が、終活や医療、ケアだけでなく、これから望む生活や生き方を続けられるよう、考えるきっかけ、話すきっかけ、ACPを行うきっかけになれば幸いです。

この取組みは、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。

ACP、愛称「人生会議」とは？
このほか、目標・希望・思いについて、気持ちを整理するための記入シートもあります。



詳しくはこちら▶

問合せ 保健福祉課(保健)
☎ 6930-9882 FAX 050-3535-8689

